



かしっこだより

「Chance Challenge Change」

檜邑小学校 検索 ←

<https://www.city.maniwa.lg.jp/site/kashimura-es/>



真庭市立檜邑小学校
第36号

令和5年1月27日
校長 山本 信子 発行



雪が どっさり積もりました



1月25日(水)26(木)と2日間も臨時休業になるほどの大雪に見舞われましたが、今日から学校を再開することができました。25日に校舎周辺の積雪量を測ってみると、約45cmでした。運動場は、一面真っ白。遊具も雪で覆われていました。玄関に繋がるスロープの雪かきをしていると、除雪車が登場。学校周辺道路をあっという間に除雪してくださいました。ありがたいことです。

大雪の被害を心配しましたが、特に報告を受けておらず、ほっとしました。今後も積雪があると予想されます。積雪や凍結に気をつけて、安全に登下校できることを願っています。

全国給食週間(1月24日~30日)始まる

1月24日(火)給食時間に、給食感謝集会を開きました。集会では、担当の先生から給食の歴史や給食を支えてくださっている方についての話がありました。この日は、安心安全に給食が食べられるよう力を注いでくださっている校務員の眞壁先生に各クラスの代表児童が手紙を読み、代表して6年生が全校児童からの手紙を渡しました。

私たちが安心安全で美味しい給食をいただけるのは、献立を考えてくださる栄養士さん、給食を作ってください調理員の皆さん、牛乳や給食を時間通りに運んでくださるドライバーの方、給食費を払ってくださる保護者の方、校務員の眞壁先生・・・大勢の方の支えがあってだということを改めて考えることができたと思います。いつもありがとうございます。



この日の給食は、世界の料理献立(フランス編)『バターロールパン・マーマレード・牛乳・サワラのムニエル・マセドアンサラダ・ジュリアンスープ』でした。





避難訓練 & 防災出前教室



令和5年1月17日は、阪神淡路大震災から28年。この日に合わせて、榎邑小学校では、避難訓練と防災出前教室を開きました。

大地震の後、火災が発生したという想定で避難訓練を行いました。児童は、緊急地震速報のアラーム音を聞くやいなや机の下に入り、頭を守る姿勢をとりました。その後、運動場へ避難。全員が真剣に取り組み、避難にかかった時間は、1分26秒でした。

避難訓練の後、体育館で、防災出前教室を開きました。真庭スポーツ振興財団の前田江美防災士さんを講師にお迎えし、防災について学びました。榎邑小学校の体育館は、避難所にもなっていることから、避難所で設置するテントと段ボールベッドを児童だけで実際に組み立てる体験も行いました。テントや段ボールベッドの必要性や有効性についてお話を聞いたり、非常用リュックの中身を見せていただいたりしました。児童にとっても教職員にとっても防災について、改めて考える機会となりました。来年度以降も防災について考える時間をぜひ持ちたいと考えています。



福祉学習(聴覚障がい者理解体験) ~山本さん 中島さん 橋本さんをお迎えて~

1月20日(金)に全校で、福祉学習をしました。小学校1年生の時に病気で聴力を失われた山本さんと真庭市福祉課の中島さんと橋本さんをお迎えし、「聞こえない」というのはどういうことや手話での挨拶・自己紹介のしかた等について、山本さんの実体験を含めて勉強させていただきました。マスクを着用しての生活で、口の動きがわからずコミュニケーションをとりにくくなっていることやお客さんが来た時に気づかないことがあって困ることも話してくださいました。手話での自己紹介では、一人一人の名前の表し方を教えてくださいました。参加していた児童も教職員も一人ずつ山本さんに自己紹介をすることができました。

普段は、聴覚に障がいがある方と接する機会がないと回答していた子どもたちですが、こうして新たな出会いがあり、学ぶことができてよかったです。授業終了後、熱心に質問をする児童の姿もありました。山本さん、中島さん、橋本さん、貴重な学習の機会をくださり、大変ありがとうございました。